

稲グリ新聞

発行 早大オーケストラ
OB会
編集 田中弘文
原信二郎
(毎月1回発行)

ヤ、あ、

クリスマスコンサートだ

12月12日(日)3時56時 於大隈会館

稲グリ初のクリスマスコンサートに近づく。

練習部門では……

構成渡本、曲の仕上げ、

ソリストの選定、伴奏者の

手配等々大わらわ。

当日アルコーンが入った

今ハチャメチャになるので

は？の声に、可本番の強さ

のみに生きる？稲ガリの伝

統を信じよう！とは演奏幹

事の阿部氏(30)。

運営部門では……

この機会になるだけ多

くのOBに家族ぐるみ参加

してもらい、特に奥様方を

稲ガリの味方に引き入れ、

今後の展開を有利にしよう

(田中幹事長(41)……)さま

思い思いの構想で準備が進

んでいきます。

供出プレゼントもご協力

のおかげで続々集結中。中

には企業色丸出しのもの、

何だかよくわからぬもの

いろいろですが、奥様が

喜ぶものが多いことは確

かです。幹事団としてはた

11月の練習

フレイル館 毎週水曜

11月の練習出席状況は下

記表の通り。10月に比べて

バランスは良くなってきて

いるので、クリスマスコン

サート関係の曲の仕上が

は意外に早いようであった。

しかし、何分にも絶対数

が少なく、寂しい思いが残

る。

だ、感謝の一言。

また、当日はグリー役

の4年生諸君全員を招待し

ています。次のOB会、稲

ガリを支える諸君です。熱

烈歓迎を。

さて、当日はお楽しみコ

ーナリがいっぱいです。ど

うぞ遅刻いたしませんよう。

それでは12日(日)3時に

大隈会館でお会いしましょう。

幹事団

へお詫言

前号で会費の表示が誤解

を招いたことにお詫言します。

家族券(2,000円)には本人

も含まれます。本人、配偶者、

子供を含めた会費です。

その中で、指揮者として

スし振りに耕納氏(37)の登場

を得て練習は活気を見せた。

幹事会

OB会財政ピンチ

来年1月かう会費集め検討

11月22日(月)に行われた幹

事会で「クリスマスコンサート

のOB会運営の大きな基盤で

ある「財政」についての今

後の大筋が決まらう。

現在、OB会の運営費は

今年(57年)7月の第19回

定演での収益分を当ててい

るが、これも残高50万円

程であり、来年度見込まれ

る諸行事への充当分を考へ

ると無きに等しい。このこ

とから、会則とのかうみも

あるが、OB会会費徴収の

再開が決定されたもの。

会費徴収にかかる金額、

新年の練習開始

1月19日(水)から

今年の練習は12月8日(水)

までで、12日(日)のクリスマ

スコンサートで締めくくり

となる。

新年(58年)の練習始め

は1月19日(水)フレイル館。

求む『広告』! (編集室)

稲グリ新聞発行の経費にご援助を

料金 全1段(5×21.5cm) 10,000円
1/2段(5×10.5cm) 5,000円
1/3段(5×7.0cm) 3,000円

発行部数 500部 完全版下 望む
お申込み (291)1561 立花書房・(03)398)6817
類案(エバ) (42)

- ①演奏会 (3日) ジョイント
- ②稲ガリ新編経費 (20回) 定演
- ③他合唱団との交際費
- ④楽譜代
- ⑤会宿、総会、幹事会 運営費
- ⑥雑費(通称費、練習場費) 等々

へ支出見込み項目

条件、特典 等詳細は追 けて連絡す

巨匠逝く

声楽家木下保先生が11月11日死去されました。

中山悌一、畑中良輔、岡村喬生氏ら多くの声楽家を育てられ、また、東京芸大、東京学芸大等の教授として長年後進育成に注がれた功績は大きなものがあります。

稲門クリーとしては直接指導をいただいたことはありませんでしたが、

声楽家 木下保先生

しばしば共演した慶応ワグネル、日本女子大合唱団の指揮者としてたびたび同じステージでお会いしました。ちようび11月11日は桜楓合唱団の定期演奏会を指揮されることになっていました。本当に惜しい指導者であつてしまつたものとす。11月13日の葬儀には、稲門クリー、早大スリー各代表が揃つて参列し、ご冥福をお祈りいたしました。

会長 橋本潔身記

木下保先生音楽葬

12月4日(土) 青山斎場
午後2時30分 音楽葬
3時5分 献花

OB会 名簿づくりを急ごう

早大スリークラブのOB新名簿の作成作業が遅れていきます。当初は12月

12日のクリスマスコンサートで配布する予定でしたが、各年度の最新名簿提出が滞つており、未だに目途が立っていません。各年度の幹事には、是非此のところですが、是非ともご協力の程を重ぬてお願いいたします。ご連絡は左記へ。

〒171 豊島区西池袋2-131-21
電話(九八三)八九四九
奥玉康夫
勤務先 日本IBM
電話(五八六)一一二一
内線二二三九

共立女子大学

第25回記念定期演奏会
12月7日(火) 6時
芝・郵便貯金ホール
指揮 磯部徹
山本健二

創立100周年記念

早大グリークラブ

記念定期演奏会

12月4日(土)

東京厚生年金大ホール

開場 5時30分

開演 6時

指揮 福永陽一郎

伴奏 久通文宜
池谷玲子他

演奏曲目

(I) ハイドン 生誕250年記念
ハイドン 男声合唱曲集

(II) 男声合唱組曲
幼年連禱

(III) ノーベルニユの歌

(IV) コーグレイ 男声合唱曲集

(V) コーグレイ 男声合唱曲集

その日の未明、木下保先生が亡くなられたという。朝、連絡を受けた私は、メンバーの心情的には、かと思ひながら、中央会館に駆けつけたとき、既に最終ステージの三つの抒情曲が始まっていた。同じ日、奇しくも四家文子先生追悼音楽会があり、そちらへも

合唱団 大合唱 日本
09
因心師を讃える歌
第13回桜楓合唱団定演を聴く

山本健二(31)

向わなければならず、かけ持ちのため遅れたのです。しかし、そのステージだけで、声になり歌になり、ひたひたと聴く人の心に訴えてきたのです。

それは気丈な彼女がみせた初めての涙でした。私は満ち足りた気持ちで会場をあとにすることができ、彼女達の歌声のひびきは、今も蘇るが如く、私の脳裡に残っています。

桜楓合唱団

故木下保先生の助言により昭和39年に日本女子大学合唱団のOGで結成。団員五〇〇名余。

で充分でした。久し振りに胸熱く心高まる感動を覚え、いつまでも拍手を続けていました。メンバーの溢れる想いが

鳴り止まぬ拍手の中で歌う「恩師を讃える歌」では、さすが堪えきれなくなったのか、目頭を抑えながら...